



2022年(令和4年)

定時社員総会・理事会

第13期

2021年4月1日～2022年3月31日

日 時:2022年5月21日(土)

会 場:産経新聞社大阪本社4階

一般社団法人日本ドラゴンボート協会

定時社員総会・理事会

○日 時 2022年5月21日(土) 18時から理事会、19時から総会

○場 所 産経新聞社大阪本社4階(大阪市浪速区湊町 2-1-57)

で理事長、副理事長、事務局、税理士が出席、ウェブで理事会、総会を開催。

※新型コロナの影響で理事会、総会を開催することが出来ない為、JDBA の定款及び法人法96条により「総会」は「議決権の書面決議」として、関連資料をメールを事前に送信し、社員の半数の承認を得られ場合は、議案を成立といたします。

☆総会資料について総数58票の内、総会出席37人、委任10人(理事18人中15人出席、委任2人、終身会員8人中8人出席、A、B団体チーム20チーム中10人出席6人委任、所属協会12中5団体出席、2団体委任)

※総数は58票(理事18、終身8、A・Bチーム20、所属協会12)の過半数で承認。

○第1号議案

・2021年度事業報告、2021年度登録チーム報告

○第2号議案

・2021年度決算報告(承認事項)⇒承認

○第3号議案

・2021年会計監査、業務監査報告(田中会計監査、中村業務監査)

・正味財産増減計算書との調整表(壇税理士)

・財務諸表(壇税理士)

○第4号議案

・2022年度予算(承認事項)⇒承認

○第5号議案

・2021年日本国際ドラゴンボート選手権収支明細

○第6号議案

・2022年度事業計画・日程

○第7号議案

・各専門委員会2021年度報告と22年度方針(各専門委員会委員長より)

○第8号議案

・その他、質問

第19回アジア競技会について(2023年延期)、第20回アジア競技会について(2026年)予定
兵庫県協会事務所移転について(河田会長)

【第1号議案1】**2021年度事業報告**

(資料)

2021年4月1日～2022年3月末まで

(2021年度事業)

【国内大会】

- 4月 宇治源平龍舟祭(京都・宇治市):協力⇒中止
- 5月 いさドラゴンカップ2021(鹿児島県伊佐市)後援⇒中止
- 5月16日(日) 東京ドラゴンボート大会2021(東京江東区豊洲・春海橋公園):主管
⇒中止
- 6月20日(日) 第10回堺泉北港スモールドラゴンボート大会(大阪・高石市):主管
⇒中止
- 7月11日(日) 天神祭奉納 2021 日本国際ドラゴンボート選手権大会(大阪市):主催
⇒11月7日に延期実施
- 8月 九頭竜ドラゴンボート大会(福井)⇒中止
- 8月22日(日) 第16回びわ湖ドラゴンキッズ選手権大会(滋賀県):後援⇒中止
- 8月 第17回KIX国際交流ドラゴンボート大会(泉佐野市):主催⇒中止
- 9月 静岡ドラゴンボート大会第11回ツナカップ(直線150メートル)⇒中止
- 9月26日(日) 第11回中川運河ドラゴンボート大会⇒中止
- 10月17日(日) 第9回スモールドラゴンボート日本選手権大会(滋賀)主管⇒実施
- 10月 第14回びわ湖1000m選手権大会&
第9回ドラゴンボート・グランドシニア大会⇒京都滋賀チームのみで実施

【国際大会】

- 2021年11月 第15回IDBF世界ドラゴンボート選手権(香港)⇒中止
- 2022年5/29-30 第10回KANSAI WORLD MASTERS GAMES 2022:ドラゴンボート競技(滋賀)
⇒2025年5月に延期予定
- 2022年9/10-25 第19回アジア競技会(中国・杭州市):JOC派遣不可
⇒2023年に延期
- 2026年9/19-10/4 第20回アジア競技会(愛知県・名古屋市共催)開催予定
※但し、19回アジア競技会が来年に延期の為、26年大会の開催は予定

【第1号議案2】 2021年度JDBA 団体登録チーム(順不動)

A団体登録チーム5チーム(1年前1チーム、2年前10チーム、3年前7チーム、4年前7チーム、5年前7チーム)

① bp(大阪)	② Umih(静岡)	③ すいすい丸(京都)
④ 関西龍舟シンパ(兵庫)	⑤ 東京龍舟(東京)	⑥
⑦	⑧	⑨
⑩	⑪	⑫

B団体登録チーム17チーム(1年前20チーム、2年前40、3年前51、4年前54、5年前40)

① すきやねん大阪(大阪)	② フォーティーズ(大阪)	③ 池の里 lakers!(滋賀)
④ 琵琶湖ドラゴンボートクラブ(滋賀)	⑤ 小寺製作所(滋賀)	⑥ Dragon Boat Club G.P.O(滋賀)
⑦ bp next(大阪)	⑧ Rスポーツマンクラブ(大阪)	⑨ チーム未来(大阪)
⑩ 関西龍舟バーリアンズ(兵庫)	⑪ 磯風漕友会(兵庫)	⑫ 磯風SD(兵庫)
⑬ 居酒屋「良」龍舟倶楽部(神奈川)	⑭ チーム☆ニライカナイ(千葉)	⑮ 鹿島龍舟部(東京都)
⑯ Bon Oyage(東京都)	⑰ 東京龍舟マスターズ(東京)	

都道府県協会登録 12 団体

① 沖縄県ドラゴンボート協会	② 東京都ドラゴンボート協会	③ 千葉県ドラゴンボート協会
④ 静岡ドラゴンボート協会	⑤ 愛知県ドラゴンボート協会	⑥ 福井県・丸頭龍ドラゴンボート協会
⑦ 滋賀県ドラゴンボート協会	⑧ 京都府ドラゴンボート協会	⑨ 和歌山県ドラゴンボート協会
⑩ 大阪府ドラゴンボート協会	⑪ 兵庫県ドラゴンボート協会	⑫ 宮崎県ドラゴンボート協会

年度別 都道府県別A・B団体登録チーム加盟数 2021年度20チーム

県名	2021年度 22チーム	2020年度 21チーム	2019年度 49チーム	2018年度 58チーム	2017年度 61チーム
埼玉県	0	1	2	2	3
千葉県	1	2	0	0	0
東京都	4	6	14	16	17
神奈川	1	2	0	4	4
静岡県	1	0	1	1	2
愛知県	0	0	1	1	1
京都府	1	0	1	1	1
滋賀県	4	1	4	5	4
大阪府	6	8	12	18	16
兵庫県	4	0	10	7	9
和歌山	0	0	0	0	0
奈良県	0	0	1	1	1
鳥取県	0	0	1	1	1
熊本県	0	0	1	0	1
鹿児島	0	0	1		
沖縄県	0	0	0	1	0

【第2号議案】

決算報告(承認事項) ⇒ 承認

事務局

2020年度 一般社団法人日本ドラゴンボート協会決算報告

(2020年4月1日～2021年3月末まで)

¥ 15,403,398(総収入)－¥15,679,990(総支出)＋¥3,361,052
(2020年度繰越金)＝¥ 3,084,460 (2021年度3月末時点通帳残金額)

1. 収入の部(税込)

収入項目	2021年度予算	2021年度決算	増減	内訳
1. 会費・登録料	0	386,000	+	個人、団体登録料
2. 検定料	0	66,000	－	ハドル検定
3. 主管料	0	0	+	日本選手権、堺泉北、スモール選手権、東京大会
4. JDBA HP 広告料	0	1,198,000	－	JDBA のHPへのサンスポバナー広告料
5. 寄付金	0	0		チーム・役員
6. 日本選手権ドーピングくじ助成	0	0	－	ドーピング助成金はなくなり、実費一括分担金支払
7. 日本選手権基金助成金	0	4,751,000	0	日本スポーツ振興センターより基金大会助成金 P16 に明細記載
8. 日本選手権大会参加料・協賛金	0	1,570,000 2,233,000	－	参加料 協賛金(大王製紙)
9. 通帳間移動①	0	2,399,372	－	JDBA 助成通帳より戻金
10. 通帳間移動②	0	400,000	+	JDBA 本体通帳より借入
11. 通帳間移動③ (ドーピング通帳)	0	0	+	19年度よりなし
12 通帳間移動④	0	2,400,000	+	
13. 前年度繰越金	0	0	+	
14. 雑収入	0	26	+	普通預金利息
小計	0	15,403,398		
前年度繰越金	3,361,047	3,361,052		21年・前年度繰越金
合計	3,361,047	18,764,450		

2. 支出の部(税込)

支出項目	2021 年度予算	2021 年度決算	増 減	内 訳
1. 会費	310,000	248,704	+	IDBF、水上安全協会、 ワールド'ゲームス'会費ほか
2. 宿泊・交通費 国内旅費 海外旅費	30,000	29,440	+	役員国内交通費
3. 事務所費、HP サ イト管理料	750,000	275,000 510,748	-	HP管理費 会計処理費、税金等
4 通信費・郵券 通信費 郵券	20,000	25,443	+	海外送金料 振込手数料
5. 会場借上げ	0	0	-	総会を産経に変更の為
6. 消耗品・補修費	0	0	+	ドラゴン修理費
7. 会議費・打合せ費	0	0	-	関空大会打合せ
8. 地方協会分配金	0	42,900	+	東京、大阪、滋賀協会
9. ハイスピートカマ返済	0	0		2017 年7月で終了
10ドラゴン 5 隻保管 料	825,000	793,750	0	大阪・南港にカバー付き で5隻保管
11選手強化費	0	0	-	世界選手権
12貸出金	0	2,400,000	+	JDBA 本通帳から助成 通帳へ移動
1貸出金一部返金	0	400,000	-	助成通帳から本通帳へ 移動
14立替金返済②	0	0	+	日本選手権口座立替 金返済(JDBA 口座よ り)
15日本選手権大会 経費(内訳は P15)	0	10,954,005	+	※P16 に詳細を記載
16予備費	0	0	0	
17海外大会役員派 遣費用	0	0	+	世界選手権役員派遣 2 人(菅蒲、森永)
合計	1,935,000	15,679,990	+	

2021年度 会計監査について

【外部監査】

2021年度の決算関係書類について監査したところ

いずれも正当・妥当に処理されていました。

2022年5月6日

田中豪



印

第13期

財 務 諸 表

自：令和 3年 4月 1日

至：令和 4年 3月31日

〒556-8663

大阪市浪速区湊町2-1-57

一般社団法人日本ドラゴンボート協会

理事長 長谷川 伸

貸借対照表

令和 4年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,084,460	3,361,052	△276,592
流動資産合計	3,084,460	3,361,052	△276,592
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	0
船舶	8	8	0
その他固定資産合計	9	9	0
固定資産合計	9	9	0
資産合計	3,084,469	3,361,061	△276,592
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	9,189	9,189	0
仮受金	100	100	0
流動負債合計	9,289	9,289	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	9,289	9,289	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	3,075,180	3,351,772	△276,592
正味財産合計	3,075,180	3,351,772	△276,592
負債及び正味財産合計	3,084,469	3,361,061	△276,592

正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日 から令和 4年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	386,000	180,000	206,000
事業収益			
事業収益	5,067,000	0	5,067,000
受取補助金等			
受取民間助成金	4,751,000	0	4,751,000
雑収益			
受取利息	21	28	△7
雑収益	0	2,220,000	△2,220,000
雑収益計	21	2,220,028	△2,220,007
経常収益計	10,204,021	2,400,028	7,803,993
(2) 経常費用			
事業費			
旅費交通費	137,000	5,000	132,000
通信運搬費	158,400	0	158,400
消耗什器備品費	113,740	0	113,740
印刷製本費	118,800	0	118,800
賃借料	225,170	0	225,170
支払負担金	344,000	184,000	160,000
支払寄付金	150,000	0	150,000
委託費	8,625,398	1,162,500	7,462,898
雑費	38,566	29,547	9,019
事業費計	9,911,074	1,381,047	8,530,027
管理費			
交際費	0	2,160	△2,160
旅費交通費	29,440	0	29,440
通信運搬費	5,103	3,780	1,323
消耗品費	4,006	0	4,006
租税公課	51,250	50,000	1,250
支払負担金	54,704	76,040	△21,336
委託費	337,500	343,000	△5,500
雑費	87,536	101,230	△13,694
管理費計	569,539	576,210	△6,671
経常費用計	10,480,613	1,957,257	8,523,356
評価損益等調整前当期経常増減額	△276,592	442,771	△719,363
当期経常増減額	△276,592	442,771	△719,363
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△276,592	442,771	△719,363
当期一般正味財産増減額	△276,592	442,771	△719,363
一般正味財産期首残高	3,351,772	2,909,001	442,771
一般正味財産期末残高	3,075,180	3,351,772	△276,592
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0

科 目	当 年 度	前 年 度	增 減
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	3,075,180	3,351,772	△276,592

科目別減価償却資産確認表

令和 3年 4月 1日～令和 4年 3月31日

(単位：円)

固定資産コード	使用開始年月日 処分年月日	取得価額	期首帳簿価額	償却方法 償却基礎金額	耐用年数 償却率	償却期間	残存簿価 (残価保証額) 償却可能限度額	減価償却費			減損損失額		償却累計額	期末帳簿価額	処分時帳簿価額 処分価額
								事業費	管理費	経常外費用	過年度未償却額	当期償却額			
【1224 什器備品】															
0000000004	H26. 7. 24	3, 012, 611	1	200%定率法	5年 1 0. 400	12	1円	0	0			0	3, 012, 610	1	
勘定科目合計		3, 012, 611	1					0	0	0	0	0	3, 012, 610	1	
【1226 船舶】															
0000000001	H22. 7. 1	2, 553, 675	3	250%定率法	5年 3 0. 500	12	3円	0	0			0	2, 553, 672	3	
0000000002	H24. 6. 28	1, 485, 296	3	200%定率法	5年 3 0. 400	12	3円	0	0			0	1, 485, 293	3	
0000000003	H25. 6. 18	1, 065, 376	2	200%定率法	5年 2 0. 400	12	2円	0	0			0	1, 065, 374	2	
勘定科目合計		5, 104, 347	8					0	0	0	0	0	5, 104, 339	8	

(注) 勘定科目が登録されていない減価償却資産は表示されません。

13

第2号議案と正味財産増減計算書との調整表

(単位：円)

収入の部	15,403,398
通帳間移動	△4,799,377
借入金	△400,000
正味財産増減計算書	
経常収益計	10,204,021

支出の部	15,679,990
通帳間移動	△4,799,377
借入金	△400,000
源泉所得税	40,840
源泉所得税納付	△40,840
正味財産増減計算書	
経常費用計	10,480,613

※この調整表で収入と収益、支出と費用の違いを検証した結果
第2号議案と正味財産増減計算書の一致が確認されました

【第4号議案】

2022年度予算(承認事項)⇒承認

事務局

2022年度一般社団法人日本ドラゴンボート協会予算
(2022年4月1日から2023年3月末まで)

1. 収入の部

収入項目	2021年度決算	2022年度予算	増減	内訳
1. 会費 (登録料)	386,000	300,000	－	A個人A・B団体会費、都道府県会費
2. 検定料	66,000	50,000	＋	パドル検定代
3. 主管料		400,000	－	琵琶湖スモール、東京大会
4. JDBA HP 広告料	1,198,000	1,000,000	－	協会 HP パナー広告料サンス ホ掲載料
5. チーム役員 寄付			0	
6. 日本選手権 トーピング助成			＋	くじ助成金 日本選手大会
7. 日本選手権 基金助成金	4,751,000	4,300,000(決定額)	－	toto ホーツ振興セン ター基金助成
8. 日本選手権 参加料・協賛金	1,570,000 2,233,000	1,500,000 0	＋	参加料 協賛金:大王製紙
9. 立替金返金	2,399,372	2,300,000	＋	JDBA 本体通帳に 返金
10 通長間移動 借入(助成通 帳)	400,000	400,000	－	JDBA 本体通帳より 借入
11,通帳間移動 (助成通帳)	2,400,000	2,300,000	－	JDBA 本体通帳より 借入
12,雑収入	26	100	＋	利息
13,繰越金	5		＋	理事役員
小計	15,403,403	12,550,100	－	
前期繰越金	3,361,047	3,361,047	＋	2021年末通帳残金
合計	18,764,450	15,911,147	－	

2. 支出の部

支出項目	2021 年度決算	2022 年度予算	増 減	内 訳
1. 会費, IDBF 登録費	248,704	250,000	—	IDBF、JADA 会費 DP 会費
2. 旅費	29,440	30,000	—	役員交通費
国内旅費				国内役員
3. 事務所費	275,000	275,000	+	HP管理
	510,748	500,000		会計処理費
4. 通信費 郵券	25,443	30,000	—	振込手数料
5. 会場借上			+	総会会場等
6. 消耗品費			—	ボート修理費
7. 会議費			+	天神大会来 賓食事代など
8. 地方協会分配金	42,900	50,000	—	
9. ハイスピードカメラ 返済金				27年7月まで
10. 5艇保管料	793,750	450,000	▽343,750	5艇を大阪南 港に保管
11. 選手強化費			+	
12. 貸出金	2,400,000	2,400,000	0	助成通帳へ
13.			—	JADA
14. 貸出金1部返 金	400,000	400,000	—	JDBA 通帳か ら toto 専用 通帳に貸出
15. 日本選手権大 会経費	10,954,005	10,000,000	—	
16. 海外大会派遣 役員補助費			+	国際委員会
17 予備費			—	
合計			—	
	15, 679, 990	14, 385, 000		



スポーツ振興基金助成事業
この大会はスポーツ振興基金の助成を受けて開催されています。
<http://www.jpsport.go.jp/sinko/> 独立行政法人日本スポーツ振興センター



スポーツ振興基金
独立行政法人日本スポーツ振興センター

【第5号議案】

天神祭奉納 2021 日本国際ドラゴンボート選手権大会収支

【収入明細】 8,554,000円 (税込み)

日時	相手先	内容	金額
1	参加料収入	スタンダード 12万×9=108万 スモール 7万×7=49万	1,570,000-
2	大王製紙	協賛金 (産経新聞経由)	2,200,000-
3	日本スポーツ振興センター (JSC) 基金助成金	競技会開催助成として	4,751,000-
4	日本工業技術専門学校	プログラム広告費	33,000-
小計			8,554,000-

【支出明細】 8,554,628円 (税込み)

1	広瀬産業海運株式会社	海上施設費・曳航費	2,750,000-
2	レントサービス株式会社	陸上会場施設費	1,903,000-
3	大阪市公園事務所	南天満公園使用料	16,170-
4	大阪音響研究所	会場音響施設費	473,000-
5	明東産業株式会社	海上警備艇備船料	880,000-
6	セフティプロモーション	陸上警備費	228,679-
7	サンケイ総合印刷	大会プログラム製作費	118,800-
8	ウイズコーポレーション	メダル・盾製作費	113,740-
9	桂商会	資材運送費 南港から桜ノ宮	158,400-
10	甲南サービス	廃棄物処理費用	99,000-
11	テレコム	無線レンタル料	88,000-
12	山口富士夫	司会・実況料	33,000-
13	NPO 法人大阪水上安全協会	八軒家浜棧橋使用料	66,000-
14	大阪水上バス(株)	大会警戒艇1隻使用料	55,000-
15	大阪キャッスルホテル	関東役員2名宿泊費	25,000-
16	東京協会 長谷川 伸	関東役員交通費4名	112,000-
17	大阪府ドラゴンボート協会	主管料	150,000-
18	天神祭渡御行事保存会	初穂料	150,000-
19	ユニオンアルファダスキン	コロナ対策費	209,000-
20	産経新聞立替金	傷害保険、謝礼、リタカほか	418,469-
21	産経新聞サンスポ	大会運営費	500,000-
22	三井住友銀行	銀行振込手数料 17件	7,370-
小計			8,554,628-

【 第 6 号議案 】

2022年度JDBA 関連大会日程 (予定)

5月16日現在

【国内大会】

- ◇5月15日(日) 東京ドラゴンボート大会2022 (東京・お台場海浜公園)
第15回世界ドラゴンボート選手権予選会
JDBA 主管、サンスポ後援
- ◇6月 堺泉北港スモールドラゴンボート大会 (高石市) ⇒中止
- ◇5月29日(日) 第10回スモールドラゴンボート日本選手権大会 (滋賀・大津市)
第15回世界ドラゴンボート選手権スモール選考会
JDBA 共催、サンスポ後援
- ◇7月17日(日) 天神祭奉納日本国際ドラゴンボート選手権大会 (大阪市・天満橋)
第15回世界ドラゴンボート選手権大会最終選考会
JDBA 主催、サンスポ後援
※コロナ禍、荒天で中止の場合は11月6日(日)に延期。
- ◇8月21日(日) 第17回びわ湖ドラゴンキッズ選手権大会 サンスポ後援
- ◇8月末 KIXフレンドシップドラゴンボート大会 (関西空港内部水面)
⇒中止
- ◇11月6日(日) 第12回静岡ドラゴンボート大会ツナカップ
詳細情報 静岡ドラゴンボート協会 HP
<https://www.c-sqr.net/c/sdbdragonboat/announces/6096>
- ◇11月13日(日) 宇治源平龍舟祭 (京都・宇治川)

【国際大会】IDBF,AOC,ADBFB 主催大会

- ◇2022年10月か11月検討中
第14回ADBFB アジアドラゴンボート選手権大会(タイ・パタヤ)
- ◇2022年7月 第13回CCWC クラブクルー世界選手権 (アメリカ・サラソタ)
- ◇2022年9月10-25日 第19回アジア競技大会 (中国・杭州) ⇒2023年に延期詳細未定
<https://www.hangzhou2022.cn/En/>
- ◇2023年開催日未定 第6回アジアビーチゲームズ (中国・海南省三亚市)
- ◇2023年8月7-13日 第15回WDBRC 世界ドラゴンボート選手権 (香港)
- ◇2024年 第14回CCWC クラブクルー世界選手権 (イタリア・レベナ)
- ◇2026年5月予定 関西ワールドマスターズゲームズ・ドラゴンボート (滋賀県大津市)
- ◇2025年7月16-20日 第16回WDBRC 世界ドラゴンボート選手権 (ドイツ・ブランデンバーク)
- ◇2026年9月ー10月 第20回アジア競技大会 (愛知県・名古屋市共催) 予定

【第7号議案】

国際委員会・2021年度活動報告、2022年度活動方針

(2022年4月27日)

報告者：森永 裕幸

1. 海外からの問い合わせに対する対応（大会関係報告含む）

新型コロナウイルス感染拡大防止による渡航制限や禁止、大会中止のため、問い合わせはありませんでした。

2. 今後の主なドラゴンボート競技大会

2021年11月：第15回世界選手権大会（香港）※IDBF30周年記念 ※順延

2022年9月：第19回アジア競技大会（中国・杭州市）

2022年：第6回アジアビーチゲームズ（中国・三亜市）※調整中

2022年：第14回アジア選手権大会（香港）※調整中

2022年7月18-24日：第13回世界クラブカップ選手権大会（Sarasota city, USA）

2023年8月7-13日：第15回世界選手権大会（Kwun Tong Promenade, HK）

2024年9月：第14回世界クラブカップ選手権大会（Ravenna, Italy）

2025年7月16-20日：第16回世界選手権大会（Brandenburgh, Germany）

※2021年5月 ワールドマスターズゲーム関西 延期決定 開催日程調整中

3. その他

①国際審判員の普及

日本ドラゴンボート協会には現在30名の国際審判員資格保持者がいます。国際審判員を日本において普及することは、国内における国際大会に対応できるとともに、国際選手権レベルの大会での審判経験による安定した国内大会の競技運営にもつながると考えています。今後とも、皆様のご理解とご協力をお願いします。

②新型コロナウイルスに関する対応

一部で開催予定もありますが、大会延期や中止など、感染拡大防止の対応を行っています。定期的にリモート会議を開催し、各国の状況や情報を共有するとともに、今後の大会開催や運営について、随時意見交換を行っています。

2022年1月15日 IDBF 総会 19:00-22:30JST 出席：菖蒲・森永 ※Zoom会議

2022年2月アジア大会への役員・審判選出関連 菖蒲・森永派遣予定 以上



亞洲龍舟聯合會

ASIAN DRAGON BOAT FEDERATION

中國北京體育館路九號 郵政編碼 100763
No 9 TIYUGUAN ROAD BEIJING
P R CHINA 100763

電話(TEL) 86-10-67128832
傳真(FAX) 86-10-67133577
Email adbfdragon@126.com

亞洲龍舟聯合會關於選調第 19 屆亞運會龍舟比賽 競賽技術人員的通知

中國、伊朗、日本、中國澳門、菲律賓、中華臺北、中國香港、印度、馬來西亞、新加坡、泰國、印尼、韓國龍舟協會：

根據《亞洲龍舟聯合會 2022 年公告（第 1 期）》有關內容要求，經各會員單位推薦，亞洲龍舟聯合會技術委員會結合疫情防控、裁判員等級、崗位匹配度等因素對推薦名單及崗位進行了研究討論，為保證比賽的順利舉辦，經亞龍聯批准，選派以下人員參與第 19 屆亞運會龍舟比賽競賽和裁判工作，現將有關事宜通知如下：

一、仲裁委員會名單

主 任：余漢橋（亞龍聯秘書長，國際 3 級，中國）
成 員：Mohammadreza Dorkhahi（亞龍聯執委，國際 2 級，伊朗）
葛蒲誠（亞龍聯執委，國際 4 級，日本，兼任）

二、裁判委員會名單

技術代表：魏 偉（國際 4 級，中國）
總裁判長：鄧德星（國際 4 級，中國澳門）
副總裁判長：葛蒲誠（國際 4 級，日本）
周立偉（國際 1 級，中國）
王建農（國際 1 級，中國）
裁 判 長：Marcia Salgado Cristobal（國際 3 級，菲律賓）
Hiroyuki Morinaga（國際 3 級，日本）
秦繼永（國際 3 級，中國）
陳亦新（國際 3 級，中國）
李 彤（國際 3 級，中國）
張兆鴻（國際 2 級，中華臺北）
楊漢琛（國際 2 級，中華臺北）
黃天德（國際 2 級，中國香港）
Tom Joseph（國際 2 級，印度）

強化委員会 2021年活動報告及び2022年活動計画

2022年5月21日

強化委員会 半田、河田、楡木、高橋

<2021年活動報告>

① Asian Beach Games 開催状況及び代表選手

当初は2020年12月に中国・海南島で開催予定でしたが、コロナ影響により21年4月に延期され、更に22年へ再延期となった。22年5月時点では、正式に大会中止の決定はないものの、22年内の開催は事実上不可能であり、来年度以降の開催も厳しい状況。

強化委員会では、21年4月の開催を前提に、全国の有力チームを中心に選手選考を行い以下の選手を選出。21年1月にJOCへ提出した。残念ながら大会の開催目処が立たないことから、幻の日本代表チームとなっている。

(順不同)

女子選手	金城 優菜、渡邊 真希子、岩井 康子、宮本 芙美香 沼澤 ダフニィー、西村 まりな、津川 紗貴子、柳 亜沙未 北川 由季、野世 敦子、南出 夏奈、井口 美穂、藤井 麻央
男子選手	窪田 一磨、木村 航、林 裕之、村越 友樹、東 正大 島袋 展幸、近藤 啓樹、森谷 桂多、江田 裕夢、鳥居 孝吉 鈴木 基裕、稲岡 邦章、藤野 巧巳、吉成 光希
監督	楡木 栄次郎、高橋 雅彦

② 日本女子代表合宿の実施

日時：21年11月27～28日 場所：東京・東大島（東京龍舟ベース）
参加者：上記女子代表メンバー 内容：強化練習、22年大会に向けての準備

<2022年活動計画>

① 主要大会及び参加予定

2022年9月：第19回アジア競技大会（中国・杭州市）*JOCより選手派遣なし
2022年：第6回アジアビーチゲームズ（中国・三亚市）*再延期もしくは中止
2022年：第14回アジア選手権大会（香港）*中止

2023年8月：第15回世界選手権大会（香港）*22年選考会により代表チームが出場

② 活動計画

目標となる国際大会開催の目処が立たない場合には、Asian Beach Games 代表は一度解散し、23年以降の目標大会を定めて、新たに日本代表の活動を再開する。選抜による代表選出はJOC派遣大会に絞り、それ以外の日本代表活動は基本的にチーム単位で行う予定。

2021 年度活動報告並びに 2022 年度活動方針

2022 年 5 月

日本ドラゴンボート協会
法制営業委員会委員長 利波敏行

【2021 年度活動報告】

■法制面の活動について

新型コロナの感染拡大防止対策として、制度面の整備が必要かと思っただが、国や地方自治体、またスポーツ庁が示すガイドラインに沿いつつ、一般的なイベント実施に対する指針については様々なガイドラインとを付け合せると、参加チームと観戦者対応の両面を組み込んだものが必要である。現状、この1～2年を振り返ると、不特定多数を対象にしたイベントはほぼ中止となり、実施されたものでも人数限定、検温対応、COCOA等追跡アプリのDL推奨、マスク着用での観戦などが示されていた。スポーツイベントも同様の対処で示されたが、競技主流のものは、無観客あるいは人数限定で実施。参加選手に対しては、感染拡大防止の申し送り徹底とPCR検査の実施、行動範囲の限定、大会前後の健康状態の確認「体調管理チェックシート」の記載、体温記録活用アプリ「テレサ」による問診等アスリートには負荷のかかるものが多かったものと思われる。協会としての法制整備の必要性を感じたが、調査データ不足もあり特定分野の調査分析に留まる。一方で、テレワーク、リモートワーク、外出自粛等による運動不足の部分がクローズアップされ企業や団体から、スポーツをすることの大切さ、軽微な運動の推奨など身体を動かすことの重要性が改めて認識されたのも事実である。

【2022 年度活動方針】

■法制面の活動について

コロナ禍に対する完璧な制度を作り上げるのは無理であるが、発表された様々なガイドラインを元に、ある一定の指針案の策定には取り組みたい。コロナ対策慣れが巷で見られ、緊急事態宣言が解除されると、イベントの人数制限も撤廃され、ソーシャルディスタンスに対する考え方も緩和されつつあるのが、ここ最近の実情である。ただし、参加選手/チームに対する事項については、医事厚生委員会、強化委員会や普及委員会等横断的に各専門委員会の方々からの意見を頂くことが重要であると認識しています。助言をお願いします。

■営業面の活動について

WMG2021が再延期となり、最短でも2026年（大阪関西万博の翌年）だが、IMGAの承認がまだ得られておりません。関西の財界等は、万博からWMGへとつなげよう！という流れになっているが、開催年が決定していない現状を見据え、スポーツツーリズムイベントにおけるドラゴンボートの認知促進を図る。一方で前年度も記載した通り、健康志向～スポーツ促進の声も多数挙げられているので、水上スポーツにおける安全面の確保、感染拡大防止の徹底による安全面の両面に配慮した、大会のプロデュース、誘致活動を行う。

また、今年のGWにお台場で開催された ビーチゲームズ日本招致プロジェクト「ジャパンビーチゲームズフェスティバルお台場」のようなイベントのプログラム参加することも、認知促進という面で考えても良いのではと思われる。下記イベントホームページ 参照
<https://jbgf.jp/odaiba2022/>

以上

評議委員会 事業計画

宮村 一

各都道府県協会はコロナ対策を考慮しながら大会及び練習会等の活動が増えていくと思います

協会毎に大会会場、練習会場で条件は違うのですが安全対策を徹提して頂くようお願いいたします

ドラゴンボート艇が転覆した場合の対策、救助方法は大会役員は理解して行動するようお願いいたします

以前ある大会で前日の監督会議で救助艇は用意していると聞いていたが大会当日、水面に居る水路審判には一切連絡は無く転覆した艇が有りましたが何も用意はしていないので競技本部に水出しのバケツを要請したが無いと返事のままその後何も対応してくれませんでした

大会競技本部がレスキューに対策を取らない様事が無いようお願いいたします

今ライフジャケット着用は必然ですがあくまでも浮く補助です体温は奪われます(低体温症)早く水面から引き上げる行動が出来る対策を考えましょう

2021-2022年 評議委員会報告

2021年も、2020年初頭からの新型コロナウイルスの影響により、各地での大会やイベントなどが軒並み中止となりました。

各地・各チームにおける活動そのものも、新型コロナウイルスのまん延・拡大防止を念頭に、一部制限せざるを得ない状況が続いております。

評議委員会も2020年・2021年に続き、活動が限定的となりました。

そのような状況下でも、天神祭奉納日本国際ドラゴンボート選手権大会とスモールドラゴンボート日本選手権大会の2つの日本選手権は、多くの関係者の皆様のご尽力もあり開催されました。結果的には参加チームが限定的となりましたが、大会開催そのものが為されましたことに大きな意義がありました。また、各地での活動も、その状況回復に力を帯びてきていることが伺えた年でもありました。

各地での活動を総括しますと、

- 練習をはじめとした活動は引き続き限定的となっているものが多く、まだまだ人が集まらないものも散見はされるが、多くの制限が為された2020年に比べると確実に回復傾向にある。各地・各チームからのSNS等での発信も、一時期に比べると増加傾向にある。
- 活動に際しては、体調管理やソーシャルディスタンスの確保など、新型コロナウイルスに関する様々な情報が多く発信されるようになったこともあり、それらを収集しながら対策と工夫を凝らし、前向きかつ継続的に行われている。
- 一方で、大会やイベントは中止となっているケースがほとんどである。ただ、2022年は2021年に比べても、首都圏や関西地方をはじめとして、大会やイベントの開催に向けた動きが活発化している傾向がみられる。特に、大会に関しては、競技性の高い大会は回復傾向にある一方、地元や関係企業など一般参加も含めたイベント性の高い大会は中止等の自粛措置が取られるケースが目立つ。

以上の傾向にあります。

評議委員会としましては、継続的に情報収集を行い、今後の更なる状況回復に向けたドラゴンボート活動・発展の一助となるよう、努めたいと思います。何より、1日も早く新型コロナウイルスの影響が収束し、ウィズコロナやアフターコロナの考えをうまく導入しながら、ドラゴンボートの大会やイベント・練習などの活動がさらに活性化されますことを祈るばかりです。

評議委員会 一同

科学技術研究委員会報告（2022.5.5）

「2021 年度」

- ① コロナの影響で多くの大会が縮小あるいは中止されたこともあって、科学技術研究委員会としての活動は殆どできなかった。
- ② 2018 年に報告した、記録・ピッチ数/分の関係からの漕技術評価基準ならびの目標値一覧（オープン）をその後の大会等の結果も含めて再検討を試みた。その結果、下表は現在も有効であると考えられた。
- ③ 2 月に大阪成蹊大学田中研究室、3 月に大阪産業大学松田研究室に委員が集まり、これまでの測定データを検討し、来年度の研究テーマ・計画を検討した。

漕技術レベル	ピッチ数/分	記録 (250m)	平均速度	最高速度	腕立・懸垂
グレード I	80 以下	80 秒以上	3.1 以下	3.8 以下	下記参照
グレード II	90 以下	70~80	3.1~3.6	3.8~4.3	
グレード III	100 以下	60~70	3.6~4.2	4.3~5.2	
グレード IV	100 以上	50~60	4.2~5.0	5.2~6.1	
グレード V	100 以上	50 秒以下	5.0 以上	6.1 以上	

(ピッチ漕タイプのチームは、110 以上) (m/s) (m/s)

*グレード V：世界選手権入賞レベル

*ドラゴンボートレースの 3 大課題

- ① 加速課題：50m 地点で最高速度に達する
- ② 最高速度課題：最高速度を高める（平均速度の 1.22 倍以上）
- ③ 速度維持課題：最高速度をゴールまで維持できる

「本年度の計画」

- ① 5 月に行われる第 10 回スモールドラゴンボート日本選手権（びわ湖漕艇場）のレース経過の実態を GPS 装置を用いて記録する。
これによって、スモール艇とスタンダード艇でのレースを比較しその特徴を明らかにする。
- ② 昨年度報告した GPS によって得られたストローク毎の 6 つ波形と漕法の関係を検討する。
- ③ 乳酸の測定から、選手の体力の特徴を検討する。
- ④ 代表チームへの科学的サポート等について計画している。

委員長：後藤幸弘

副委員：田中 譲

委員：秋武 寛（びわこ成蹊スポーツ大学）

越智祐光（姫路獨協大学）

松田光弘（大阪産業大学）

「鶴見川スポーツフェス」への運営参加のご報告

2022年5月8日

普及委員 丸山春海

鶴見川スポーツフェス実行委員会

ドラゴンボート・カナディアンカヌー担当

掲載の件につき、下記の通り、ご報告いたします。

記

1. イベント名： 鶴見川スポーツフェス（水上スポーツ体験乗艇イベント）
2. 日時： 2022年5月5日 8:30～15:30
3. 場所： 横浜市鶴見川漕艇場
4. 主催： 横浜ジュニアローイングスクール
後援 日本ボートマンクラブ、NPO 法人横浜市ボート協会
TAITAM X DRAGONS、BON OYAGE、横浜市鶴見区スポーツ協会
5. 目的
 - ・子どもたちを中心にボートを体験してもらい、水辺に親しんでもらうこと
 - ・ドラゴンボートについては、下記2点も盛り込んだ趣旨としたもの
 - 周辺住民へのドラゴンボート認知度向上
 - 今後鶴見川でドラゴンボートレースができるかの試験的運用
6. イベント内容
 - (1) 午前 4種の艇の体験乗艇会（同時開催 午後親善ドラゴンボートレース練習会）
ドラゴンボート、ナックルフォア、オーシャンスカル、カナディアンカヌー
 - 参加者延べ計74名（小学生以下子ども31名、中学生以上大人43名）
 - 運営スタッフ計68名
TAITAM X DRAGONS（16名）・BON OYAGE（14名）はドラゴンボートとカナディアンカヌーを担当
 - ・体験乗艇会運営：ドラゴンボート・カナディアンカヌーを2チーム交互で担当
 - ・親善ドラゴンボートレース練習会：舵および漕ぎのサポートを2チーム合同で対応
 - (2) 午後 親睦ナックルフォア・ドラゴンボートレース
合計16レース実施（ナックルフォア計10レース、ドラゴンボート計6レース）
 - ナックルフォア：小学生4チームによるJBC杯レース、大人7チームによる親睦レース
 - ドラゴンボート：ローイングクルーとドラゴンクルーの混成4チームによる親睦ドラゴンボートレース
 - ドラゴンボートマッチレース：BON OYAGE vs TAITAM X DRAGONS





7. 所見

昨秋の横浜市民体育大会に続き、ローイングボートのイベントにドラゴンボートとして参加。艇種を超えたクルー間交流、未経験者にボートを知ってもらう・経験してもらう機会の創出、「ローイングボートとドラゴンボート」でのコラボ普及活動の一步となりました。水上スポーツの活性化やボートの普及・推進のニーズは艇種が違えども共通意識であり、引続きお互いの艇への共通点・違いへの理解と新しい発想の創出により活性化・普及へ繋げ、その実効性を高めていく所存です。

以上

(添付資料)

- ・鶴見川スポーツフェスイベントチラシ
- ・鶴見川スポーツフェス実行委員会発信報告書「イベント開催の報告ならびにお礼」

以上

【第8号議案】

- ・第19回アジア競技会について
- ・2022日本選手権におけるJDBA理事18名への役員謝金(1日2000円)支払いについて(承認事項)
2021年開催予定の日本ドラゴンボート選手権大会の競技役員として参加するJDBA理事18名に対して、交通費・謝金として1人2000円を支払う。

【その他、質問】

- ・第19回アジア競技会について(2023年延期)、第20回アジア競技会について(2026年)予定

・兵庫県協会事務所移転について

〒678-0052 兵庫県相生市大島町938-1 相生マリーナ

兵庫県ドラゴンボート協会代表 河田 英幸氏

(参考)

①2021年5月－2023年5月末 JDBA 役員体制 (敬称略)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| ◎会長 | 松川るい (自民党参議院議員) |
| ◎筆頭副会長 | 矢田節彦 |
| 副会長 | 櫻井顕一 (代表理事) |
| 副会長 | 後藤幸弘 (理事) |
| 副会長 | 細谷悦哉 |
| ◎理事長 | 長谷川伸 (代表理事・競技委員長) |
| ◎副理事長 ADBF 常務理事 | 菖蒲誠 (代表理事・国際統括) |
| 副理事長・事務総長 | 谷達也 (代表理事・国内統括) |
| ◎常任理事 | 鎌田敦士 (用器具統括) |
| 常任理事 | 原田直己 (医事委員長) |
| 常任理事 | 木村一郎 (普及副委員長) |
| 常任理事 | 森永裕幸 (国際委員長) |
| 常任理事 | 半田佳彦 (強化委員長) |
| 常任理事 | 榆木栄次郎 (強化委員会 混合担当) |
| ◎理事・事務局長 | 千葉晋史 |
| 事務局次長 | 清水基央 |
| ◎理事 | 後藤幸弘 (科学技術委員長) |
| 理事 | 宮村一 (評議委員長) |
| 理事 | 合田靖海 (広報普及委員長) |
| 理事 | 山崎裕司 (審判委員長・VJキー-委員長) |
| 理事 | 石川平明 (用器具委員長) |
| 理事 | 利波敏行 (営業法制委員長) |
| 理事 | 松尾由佳 (国際担当) |
- ※川北理事はご退任されました。
- | | |
|-------|-------------|
| ◎会計監査 | 田中豪 (会計監査) |
| 業務監査 | 中村英作 (業務監査) |
- ※西川京子監査はご退任されました。
- ※理事は4人以上、18人まで。(JDBA定款「第17条 理事の員数」)
- | | |
|---------|-----------------------|
| ◎相談役 | 山岡伸一 (元理事)、竹末佳紀 (元理事) |
| ◎各専門委員会 | |
| 競技委員長 | 長谷川伸 |
| 強化委員長 | 半田佳彦 |
| 評議委員長 | 宮村一 |

審判委員長・リスクー委員長	山崎裕司
セイフティアドバイザー	伊藤裕樹（新任）
国際委員長	森永裕幸
用器具委員長	石川平明
法制営業委員長	利波敏行
普及広報委員長	合田靖海
医事厚生委員長	原田直己
科学技術委員長	後藤幸弘
◎委員	村野智子（総務部長）
委員	野尻恵子（国際委員）
委員	河田英幸（強化委員会女子担当）
委員	高橋雅彦（委員 強化委員会 オープン担当）
委員	山脇秀錬（評議委員会副委員長）
委員	高橋冬扇（評議委員会副委員長）
委員	池田和也（用器具委員会副委員長）
委員	田中譲（科学技術委員会副委員長）
委員	杉浦 丈仁（たけひと）・森薬局管理薬剤師=新任 （医事厚生委員会スポーツファーマシスト）
委員	丸山春海（普及委員会担当）

一般社団法人日本ドラゴンボート協会理事会

◇令和4年5月21日 午後6時から

◇出席理事（敬称略）

議長代表理事：長谷川伸、代表理事：櫻井健一、代表理事：菖蒲誠、代表理事：谷達也
理事：後藤幸弘、鎌田厚、原田直己、木村一郎、森永裕幸、半田佳彦、楡木栄次郎、
宮村一、合田靖海、松尾由香、千葉晋史

（議事録）

◇令和4年5月21日午後6時00分、大阪市浪速区湊町二丁目1番57号 株式会社産業
経済新聞社大阪本社4階会議室及びウェブ会議で理事会を開催した。

◇理事総数18名、出席理事14名、監事数2名、出席監事0名

◇出席理事の氏名 長谷川、後藤、櫻井、菖蒲、谷、半田、原田、木村、森永、楡木、合
田、宮村、松尾、千葉。

尚、代表理事理事長：長谷川伸、代表理事副会長：櫻井顕一、代表理事副理事長：菖蒲誠、
代表理事副理事長：谷達也、理事事務局長：千葉晋史を除く理事は、インターネットを使
用した会議システムにより本理事会に出席した。

- ・1号議案 2021年度事業報告及び2021年度登録チーム報告
- ・2号議案 2021年度決算報告（承認事項）⇒賛成多数で承認
- ・3号議案 2021年度外部会計監査、外部業務監査
- ・4号議案 2022年度予算⇒賛成多数で承認
- ・5号議案 2021年度日本国際ドラゴンボート選手権収支明細
- ・6号議案 2022年度事業計画・日程
- ・7号議案 各専門委員会2021年度報告と2022年度方針
- ・8号議案 その他（第19回アジア競技会について、2022日本ドラゴンボート選手権大会
での理事への謝金2000円支払いについて⇒賛成多数で承認）、その質問

一般社団法人日本ドラゴンボート協会定時社員総会議事録

- ◇日時 令和4年5月21日 午後7時から
◇場所 大阪市浪速区湊町二丁目1番57号
株式会社産業経済新聞社大阪本社4階
◇出席者①議決権のある社員総数（理事、終身会員、チーム） 52名
②総社員の議決権の数 58名
③出席社員総数（委任状を含む）47名
◇議長 長谷川伸日本ドラゴンボート協会理事長
◇出席理事（敬称略） 櫻井顕一、菖蒲誠、谷達也、千葉晋史
以下の理事は、インターネットを使用した会議システムにより出席
後藤、櫻井、半田、原田、木村、森永、榆木、合田、宮村、松尾

- ・1号議案 2021年度事業報告及び2021年度登録チーム報告
- ・2号議案 2021年度決算報告（承認事項）⇒賛成多数で承認
- ・3号議案 2021年度外部会計監査、外部業務監査
- ・4号議案 2022年度予算⇒賛成多数で承認
- ・5号議案 2021年度日本国際ドラゴンボート選手権収支明細
- ・6号議案 2022年度事業計画・日程
- ・7号議案 各専門委員会2021年度報告と2022年度方針
- ・8号議案 その他（第19回アジア競技会について、2022日本ドラゴンボート選手権大会での理事への謝金2000円支払いについて⇒賛成多数で承認、その他質問

令和4年5月21日
一般社団法人日本ドラゴンボート協会理事会・定時社員総会
議長代理理事兼議事録作成者

長谷川 伸 印